

評価対象	羅 針 盤		方 策
	評価項目	具体的数値項目	
Ⅰ 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	(1)体験的学習による授業に生徒の80%以上が満足している。	<ul style="list-style-type: none"> 「課題研究」や学校設定科目の「起業実践」を通じ、問題解決型学習、作品制作、商品開発、プレゼン、地域や大学との連携活動など、実社会で役立つと考える能力を積極的に育成する。 学校行事、部活動など特別活動の充実と向上を図り、生徒が集団の一員として主体的に学校生活に参画できるように工夫する。 日頃より、学校への帰属意識を高め、生徒主体の活動になるように支援する。
		(2)自分の学校が好きだと感じている生徒の割合は、80%以上である。	
Ⅱ 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	(3)生徒の実態を踏まえた学習指導に、生徒の80%以上が満足している。	<ul style="list-style-type: none"> 2年情報コースのソフトウェア活用で少人数授業及び習熟度別授業を実施する。また、2年会計コースの会計、原価計算においてチームティーチングを実施する。 ICT機器の活用や協働的な学習を取り入れるなど、各教科で授業形態の工夫をはかり、双方向の活気ある授業を展開する。 日頃から、資格取得が進路希望実現や進路選択の幅を広げるものであることを生徒に理解させる。 生徒の資格取得実現のために、学校をあげて支援する体制を整える。簿記検定週間・英語検定週間を設定し、特別時間割で実施する。また土曜日・長期休業・放課後を活用して補習を行う。 各教科で宿題・課題等を工夫し、家庭学習や朝学習の習慣の確立につとめる。また、宿題や課題を授業で有効活用し、知識の定着を図り、発展的な学習にも繋げる。 定期試験前の勉強時間の確保と、成績不振者を対象とした勉強会を実施する。 各科目ごとに具体的な目標を設定し、その達成に向け取り組ませる。生徒一人一人に定期的(学期毎)に目標に向けての進捗度を評価させ、達成度・満足度を確認する。
		(4)本校の資格取得指導の実施に、生徒の80%以上が満足している。	
	3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	(5)決められた宿題や提出物を毎回提出できている生徒が80%以上である。	
		(6)学習に対する達成感・満足感を持っている生徒が、80%以上である。	
Ⅲ 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	(7)生徒会活動・学校行事が充実していると評価している生徒が、80%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> 生徒会役員が生徒会活動の主体となるよう、企画立案、行事の実施に積極的に関わらせる。 大きな生徒会行事に関しては、実行委員会を中心に行事の運営にあたらせるなど、全生徒が行事に関わる体制を作る。 各々がそれぞれの目標を達成できるように、月ごとに活動計画をたてる。また生徒会、学校と各部顧問とが連携し、施設面などでの環境整備を行う。 ホームルームや教育相談日より等を通して、月2回のスクールカウンセラーの来校日時を全生徒に通知し、誰もが気軽に相談できる体制を構築する。 年度当初作成した、全職員を5班に分けたローテーションにより、週1回の登校時指導を実施する。 年度当初、学級担任を中心として、自転車の安全走行のための安全点検を実施する。 通学時、複数回の街頭交通指導を実施する。 普段から個々の生徒の様子を観察することにより未然防止を図る。 学期ごとのアンケート調査により、早期の実態把握を行う。 交通事故に巻き込まれないため、ゆとりをもって登校するよう、生徒に呼びかける。またPTA総会や学年保護者会で家庭の協力も呼びかける。 学年団と連携し、月別欠席調査を実施する。 教育相談係やSCによる早期教育相談を実施する。 長期欠席者に対し週1回以上の家庭連絡を行う。 家庭と連絡を密にし、情報の共有を図る。
		(8)部活動が充実していると評価している生徒が、80%以上である。	
		(9)教育相談が利用しやすいと感じている生徒が、60%以上である。	
		(10)登校時指導を毎月、組織的に行っている。	
	5 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に行っていますか。	(11)交通事故の発生件数が前年度比の80%以下である。	
		(12)いじめの発生防止に努め、いじめの解消率が100%である。	
6 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	(13)1日平均遅刻者数が、5人以下である。		
	(14)中途転退学者が、在籍生徒数の0.5%以下である。		
Ⅳ 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	7 計画的な指導を行っていますか。	(15)学校から提供される進路情報が役立っていると評価する生徒が、80%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> 「進路の手引き」により進路に関する基本的な内容を理解できるようにするとともに、その充実を図る。「進路たより」を複数回発行し、最新情報の提供や進路学習の取り組みの状況など、適時的な進路情報の発信を行う。 教育実習生による大学説明会を行う。 進学先による校内進路ガイダンスを行う。 人事担当者による企業説明会を行う。 7月中旬に三者面談を実施する。 適時、進路についての二者面談を行う。 進路指導部担当職員が進学希望生徒に対し個別面談を実施し、進学先について適切なアドバイスを行う。 各学年の保護者会において進路講演会を実施する。3年生についてはPTA総会終了後に進路ガイダンスを実施し、欠席者が多い場合は第2回「進路説明会」も実施する。
		(16)進路関係の行事が役立っていると評価する生徒が、80%以上である。	
	8 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	(17)生徒の将来の志望について主体的に考えている生徒が、80%以上である。	
		(18)学校の進路指導について理解している保護者が、80%以上である。	
Ⅴ 開かれた学校づくりに努めていますか。	9 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	(19)学校のホームページに前商たよりを月1回掲載、更新を週1回以上している。	<ul style="list-style-type: none"> 教職員が連携し、発信すべき項目を検討し、積極的かつ迅速な更新を推進する。 PTA総会の日程に合わせて、授業公開を行う。 学校からの一斉メールを活用して、緊急情報や行事案内、保護者への連絡等を配信する。 学校ウェブサイト上で様々な情報を発信する。
		(20)学校の様子がよく分かると答えている保護者が70%以上である。	
Ⅵ 教育デジタル化に努めていますか。	10 ICTを活用した指導を行っていますか。	(21)ICTを活用した指導に、生徒の80%以上が満足している。	<ul style="list-style-type: none"> 一人一台端末を活用した授業を展開し、協同学習の充実をはかり、データの共有ならびに生徒・保護者との連絡、情報共有の充実をはかる。 職員の100%が一人一台端末利用方法をマスターし、授業やクラスの担当者間で温度差が生まれないようにする。 職員打ち合わせにグループウェアを利用し、スムーズかつ連絡漏れの防止に努める。 資料や配布物のデータ化に努め、ペーパーレス化の運用体制をつくる。 担当分掌、学級以外にも業務の進捗状況の共有を図る。
		11 ICTを活用した業務改善を行っていますか。	